

## 総括質疑



### 国際戦略を担う組織・人員体制について

- Q** 世界的な都市間競争が激化する中、真の国際都市として神戸が更なる発展を遂げていくためには、全市横断的に国際戦略に取り組むことができる組織・人員体制の構築が不可欠であると考えますが？
- A** 国際的な視点を持った人材育成に力を入れていく。平成26年度は、英語だけで議論する政策討議をやっていき、さらに語学力を磨くといった人材育成を積極的に行っていく。

### 災害時要援護者支援対策について

- Q** 災害時要援護者支援については、取り組みが進められている地区が極めて少ない状況である。地域へのレクチャーの強化や働きかけの方法の見直しなど、今まで以上に行政によるサポートを充実させるべきと考えますが？
- A** 先行している地区を参考にしながら、他地域への講師派遣や区からの事例紹介を積極的に行い、具体的な取り組みにつなげていきたい。

### 小学校における乳幼児とのふれあい学習について

- Q** 小学校における乳幼児とのふれあいについては、こどもたちが自然な親子の姿を見たり、出産の話を聞いたりすることで、命の大切さを学ぶことのできる貴重な経験の場となっているが、学校側の自主的な取り組みという位置づけのもと、約1/3の小学校でしか実施されていない現状である。市内全校への展開を図るべきと考えますが？
- A** 小学生にとって「命の感動体験学習」は大変有意義な活動であり、教育委員会としても今後も協力して推進していく。NPOの活用については、現在の実施校におけるプログラムの内容・回数・活動費等、成果や課題を検証しながら、今後のあり方について研究していく。

## 一般質問

### 北神急行電鉄について

- Q** 現在は神戸市も運賃引き下げのための補助を行っているが、今後は北区のまちづくりと市民の利便性を向上するため、もう一步踏み込んだ施策を行うべきと考える。例えば北神急行電鉄の買収を検討する等、運賃低減化を図ってはどうか？



- A** 継続して北神急行の運賃を維持することが重要と考える。平成26年度以降、神戸市、兵庫県、北神急行、阪急等で会議を立ち上げ、北神急行の自助努力、阪急の支援効果を確認・検証していき、その上で中長期の視点で検討していきたい。

### 通学定期券の割引率について

- Q** 市営地下鉄の通学定期割引率は60%で、割引率78.5%の阪急をはじめ、JR・阪神などと比べて最低である。この割引率を見直し、市民負担を軽減すべきと考えるが？
- A** 割引率の引き上げは大きな減収となり、システム変更等経費もかかり、事業者との調整も必要となる。課題は大きいですが、他事業者の事例も参考に割引率の見直しを検討していきたい。実施時期は公立高校学区再編等もあり平成27年10月頃を目途と考えている。

### 「英国メリデン版訪問家族支援技術 紹介セミナー」

平成26年3月3日(月)神戸市教育会館において、エビデンス(検証結果)に基づいた全年齢層の家族支援を提供することにより、精神健康問題を抱える本人の再発率、再入院率を抑制する効果が高い「英国メリデン版訪問家族支援技術(以下、メリデン家族支援)」を神戸で紹介する目的でセミナーを開催した。

今回は所長と次長、家族としてこのメリデン家族支援を受け、現在職員として働く当事者家族の声も聴くことが出来た。家族会会員、看護師、行政、一般の方など約70名が参加された。質疑応答では「それでも病気は治らない」という家族の声に「治すのではなく関わっている人が対応でき、ストレスがなくなるようにすることが出来る」「本人も家族である私も人生がよくなった」「薬物療法でないので副作用がなく、試してみる可能性があるはず」との答えだった。諸機関と連携し、本市での導入を検討したい。

